

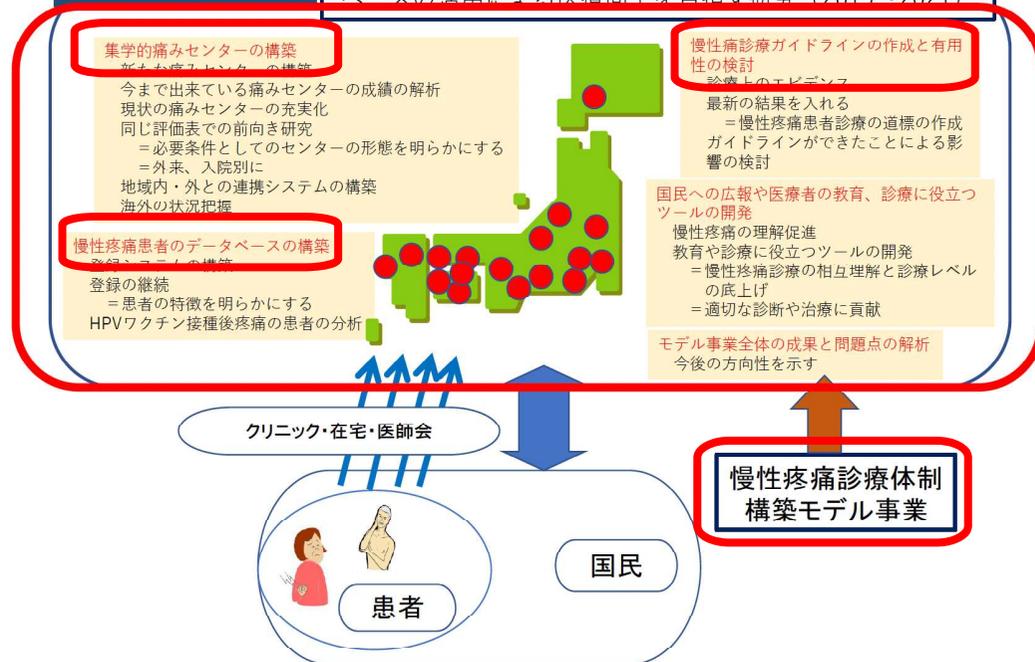
2023年7月25日

HPVワクチン甲信越地域ブロック拠点病院整備事業 Web講演会 ワクチン接種後、全身の関節痛に対して、段階的にリハビリを施行した1例



甲信越地区HPV予防接種支援事業 副WG長
新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科
木村慎二

厚生労働省政策研究班 慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究 (2019~2021)



H25(2013)年6月ーH26(2014)年11月

研究班18施設受診症例 (204例)
 13-46歳 (平均: 17.3歳)

サーバリックス	137例
ガーダシル	52例
不明	15例

診察の流れ
 他院からの紹介 (データも含めて)
 身体所見、必要な追加検査を行なう

(牛田享宏氏より提供)

疼痛の部位

204名 発症年齢 平均 17.3歳

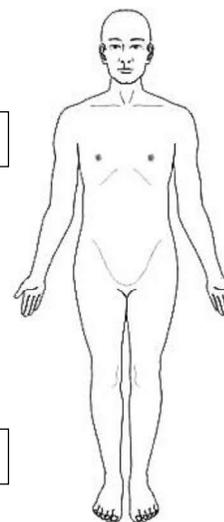
頭痛 92人

肩痛 55人

腰痛 56人

膝痛 68人

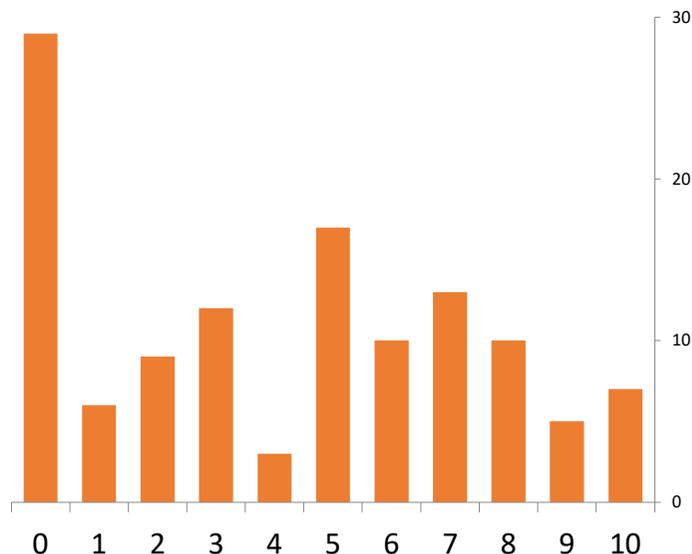
注射部位の持続的な痛み 3人



- 上肢 10
- 上腕 39
- 肘 36
- 前腕 33
- 手関節 31
- 手掌 28
- 手指 40
- 下肢 7
- 股関節 30
- 大腿 31
- 下腿 44
- 足関節 32
- 足部 25
- 足趾 18
- 腹痛 34
- 全身痛 7

症状

痛みの強さ (NRS)



症状

症状	あり	なし	回答なし
全身倦怠感	119	48	13
睡眠障害	83	83	10
めまい	91	71	16
吐き気・嘔吐	64	96	17
たちくらみ	110	49	14
起立持続時の悪心、卒倒	46	96	38
湯船から上がる時の脳貧血	59	82	39
ちょっとした運動での動悸	69	86	17
朝起き不良で午前中不調	102	53	19

身体所見

身体所見	あり	なし
運動麻痺/筋力低下	15	90
MMT 0-2	1	
MMT 3	3	
MMT 4	8	
感覚鈍麻	4	76
触ったときの異常感覚	12	138
Allodynia	8	140
四肢腱反射	亢進 2	正常 122
発熱	あり 29	なし 125
関節腫張	6	139

器質的な異常を示唆する所見は乏しい

受診患者の血液等の検査所見

検査項目	異常あり	異常なし	施行なし
X線所見	5	89	59
スクリーニング	3	131	44
CRP	2	95	54
WBC	4	107	46
MMP-3	0	29	100
リウマトイド因子	0	45	62
抗核抗体	2	39	64
血清アミロイドA	1	21	76
抗CCP抗体	1	20	76 (人)
神経伝導検査	1	12	89
サーモグラフィー	0	4	95

血液検査や画像検査で明確な異常所見はみられないケースが大多数である。

廃用症候群 (Disuse syndrome)

不活動状態により生じる二次障害。運動器障害、代謝・循環器障害、心理的荒廃などが生じる。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>A. 局所性廃用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関節拘縮 2. 肩亜脱臼 3. 筋廃用萎縮 <ol style="list-style-type: none"> a. 筋力低下 b. 筋持久力低下 4. 骨廃用萎縮 5. 皮膚萎縮 6. 褥創 7. 静脈血栓症 | <p>B. 全身性廃用症候</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心肺機能低下 <ol style="list-style-type: none"> a. 一回心拍出量減少 b. 頻脈 2. 起立性低血圧 3. 消化器機能低下 <ol style="list-style-type: none"> a. 食欲低下 b. 便秘 4. 利尿、ナトリウム利尿 5. 易疲労性 6. 疼痛閾値の低下
(痛みに対して過敏になる) | <p>C. 精神神経性廃用症候</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知的活動低下 2. うつ傾向 3. 自律神経不安定 4. 姿勢・運動調整機能低下 |
|--|--|--|



心理社会環境

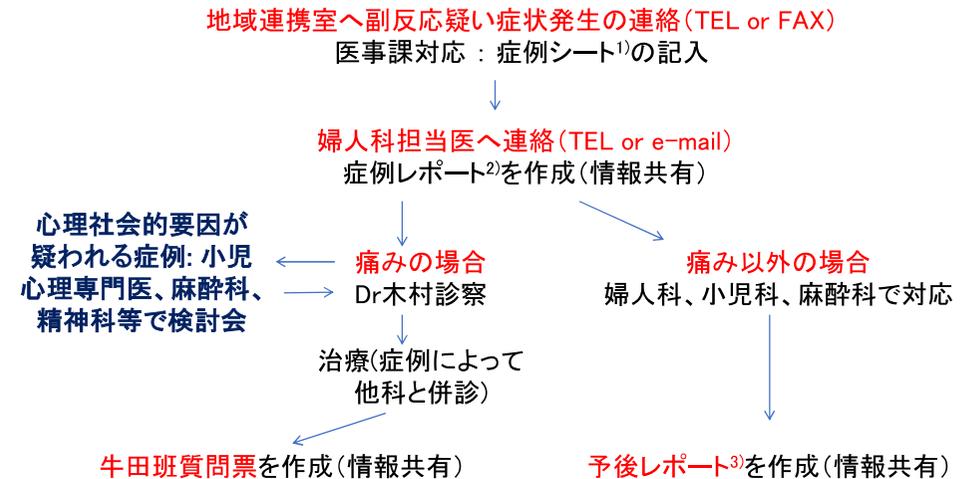
不登校・欠席	あり 100	なし 60		
友人との関係	大いに問題あり 4	やや問題あり 17	問題なし 113	
学校は楽しいか	楽しい 102	楽しくない 18	どちらでもない 14	
クラブ活動	行っている 50	行っていない 100	回答なし 37	
これまで病気以外で学校を休んだ事があるか	頻繁にある 3	ときどきある 9	ごくたまにある 22	一度も無い 51
体育の授業	受けられている 74	休んでいる 75		
過干渉	あり 12	なし (49)	回答なし (96)	
過保護	(14)	(47)	(95)	

HPVワクチン接種の関与の可能性が否定出来ない症例における不安と痛みの改善の関係

不安の分析できたもの	不安改善あり	不安不変	不安悪化
73	57	14	2
	痛み改善 43 (75%)	痛み改善 2 (14%)	
	痛み不変 11 (19%)	痛み不変 11 (78%)	
	痛み不明 3 (5%)	痛み不明 1 (7%)	痛み悪化 1

状態に対する理解が得られ、不安が改善すれば痛みの改善に向かっていける

新潟県におけるHPVワクチンの副反応疑い症状診療システム



- 1) 氏名、生年月日、住所、電話番号、副反応疑い症状の概要
- 2) ワクチン接種と副反応疑い症状の詳細
- 3) 検査・治療内容、診断、今後の方針など

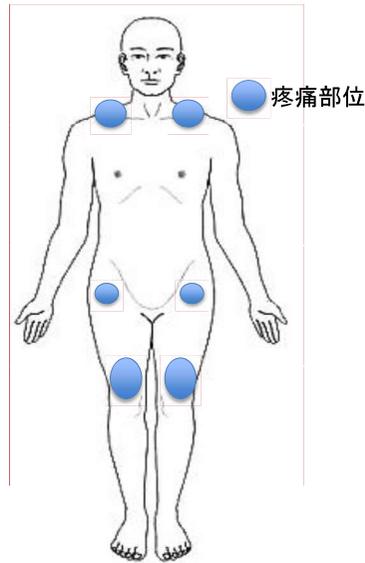
症例 1 20才 HPVワクチン接種後全身痛

- 主訴: 1)両肩、股関節、膝関節痛
2)今の痛みが続いて看護師になれるか心配
- ニード: 半年から1年後に立つことや座ること、及び階段昇降がスムーズに行えること
- 生育歴: 特に問題なし、父親は母親と10年前に離婚
- 家族構成: 母親(心配性、事務職)と2人暮らし
- 現病歴・経過:
 - H23.7.4:(高校2年):HPVワクチン接種1回目
 - 8.8: HPVワクチン接種2回目
 - 8.28: ①県央医師会休日診療(足の痛み)
 - 9.8: ②近医整形外科 X線撮影:異常なし
足・ひざ・手・指などの関節が痛む
 - H24.1.11:HPVワクチン接種3回目
ひざ・手の関節が再び強い痛みとなる

当科初診時(H26.8) 疼痛部位・診察所見

- ・関節腫脹なし、圧痛軽度
- ・関節可動域:
軽度の運動 時痛あるも正常
- ・握力:右22, 左16kg
- ・四肢の筋力:4以上あり

骨X線・血液検査 :異常なし



- 現病歴・経過(続き)
 - H24.2.4 :②近医整形外科
リウマチの疑いがあるので、県立病院を紹介
 - 2.6:③県立病院(整形外科)X線・血液検査
リウマチ因子は陰性、※その後、2回受診
 - 8.16:(高校3年)④新潟県内総合病院(内科)
血液検査
 - 9.29:④A総合病院(免疫科)
X線・血液検査 ※その後、7回通院
 - H25.3.21:⑤B総合病院 MRI他、検査いろいろ
 - 4.3:(看護科専門学校1年)
⑤B総合病院 14日間入院
 - 4.20:④A総合病院 担当医変更
 - H26.7.5: ⑤近医整形外科 X線・血液検査
 - 8.26:⑥新潟大学病院 リハ科紹介初診

当科初診時所見のまとめ

- #1 関節から筋(僧帽筋、大腿四頭筋)の圧痛軽度
- #2 軽度の運動時痛
- #3 ごく軽度の四肢の筋力低下
- #4 将来に対する不安
- #5 母親の過剰な対応(駅までの送迎等)

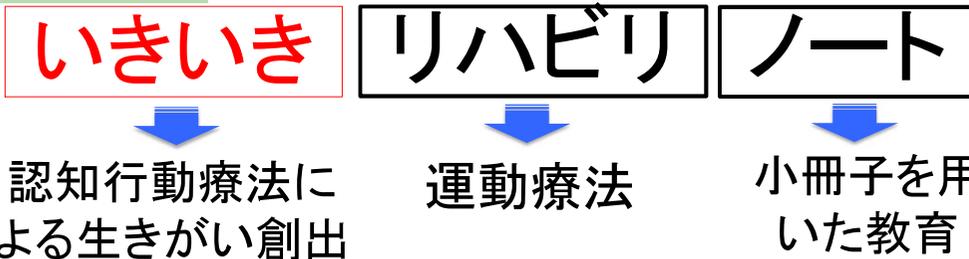
治療方針

- #1 不安の解消(異常な検査所見なし)
- #2 病態説明(初発の痛み:不明、その後廃用症候群)
- #3 徐々に運動療法の負荷量をアップ
(いきいきリハビリノート使用)



厚生労働科学研究費補助金による
慢性の痛み対策研究事業(牛田研究班)

「いきいきリハビリノート」 の開発



木村慎二:ペインクリニック 38 (3):322-32, 2017



日々の記入ページ
(認知行動療法的アプローチ)

年 月 日

日常生活の行動

リハビリの内容

身体の状態

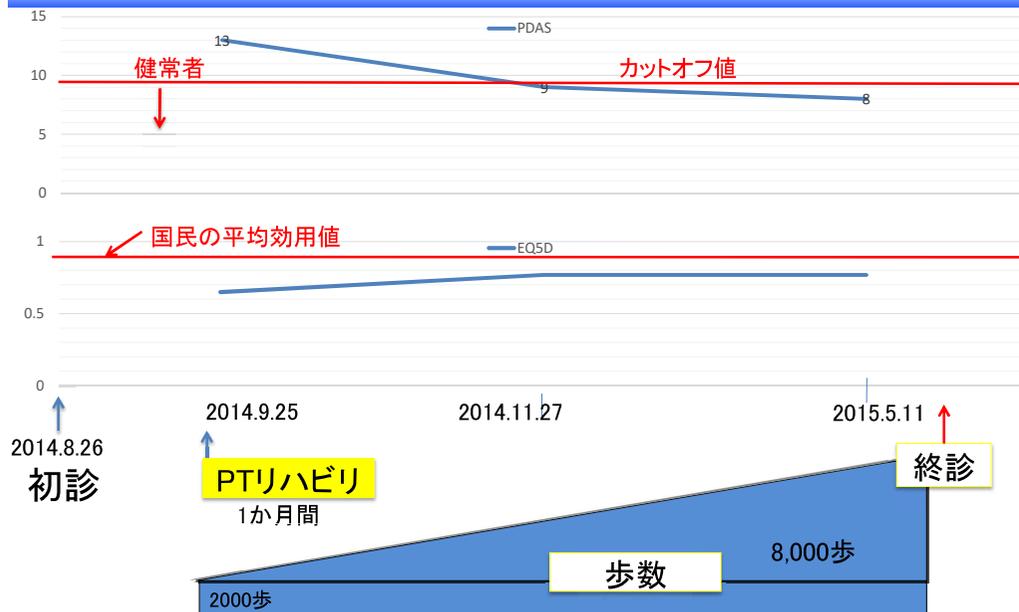
いきいきリハビリ

考え

感情

自分をねぎらう
メッセージ

PDAS(日常生活障害度)、EQ-5D(QOL)



まとめ

1. HPVワクチン接種後の痛みを含めた症状は多彩である
2. 血液検査、画像検査等の異常がある場合はまれである
3. 痛み等の原因が不明なため、不安症状が強いと長期・難治化し易い
4. 初期の痛みの後に、廃用症候群に陥っている場合が多い
5. 治療方針として、患者・家族の話を丁寧に傾聴し、不安の解消が最も重要
6. 廃用に陥った筋や関節、全身状態に対し、徐々に運動療法の負荷量をアップし、健常者レベルに戻す
7. 学校を含めた、社会参加の機会を徐々に増やすよう周囲の環境改善(学校生活へのアドバイス等)にも配慮する